

令和3年度 学校関係者評価

令和4年2月28日実施

【保護者アンケートについて】

- ・保護者からの回答分布は、概ね好評価である。このことから、保護者の学校に対する評価は、良好であると捉えられる。
- ・各項目の評価が高く、適切な学校運営がなされていると判断できる。
- ・全体的に保護者は学校を信頼していると感じられる。学校生活について、生徒が保護者と話したり、配付物を渡したりしているか、また、会話や家庭内での関わり方が気になった。
- ・学校の目標や方針について、これまでの歴史や取組を踏まえて、具体的に評価・評定ができる内容の文言にする必要がある。
- ・学年に応じた職業や進路についての指導や応報提供について、高校の変革の様子や今求められている生徒像を踏まえて、生きる力や知識を得る手段、自己実現・アピールの仕方等、キャリアを積むことの重要性を訴える必要がある。
- ・地域人材や施設の活用について、コロナ禍により実施が難しい状況であるが、公民館や文化センターの活用が大事である。
- ・特別支援教育について、昨年度と比較して改善が見られるが、行事や取組、発達障害・学習障害等も含め、交流教育について更にアピールする必要がある。
- ・学習への意欲について、防災教育や薬物乱用防止、いじめ撲滅、犯罪防止等、自分事として捉え、話し合わせたり、レポートにまとめたりすると共に、家庭で机に向かわせる必要がある。
- ・教師の授業改善について、保護者は教育に関する関心が高いため、授業に関しては質の高さが求められる。オンライン授業等、教師の個人差が出ないように学校としての取組が必要である。

【生徒アンケートについて】

- ・「授業はどの教科もわかりやすい」についてのC・Dの回答率がやや高いことが気になるが、他の設問については、良好であると言える。
- ・わかりやすい授業について、生徒の声に耳を傾け、具体的に個別指導していくことが大事である。
- ・基本的な生活習慣に関する項目が高評価なのに対して、学習面に関する評価が少し低くなっているのが少し残念である。
- ・家庭学習の習慣が身に付いていない生徒、塾があり家庭学習が難しい生徒、部活動と

学習の両立が難しい生徒、どのような生徒がいるのか実態把握をすることが大切である。学習やノート整理の仕方、暗記の方法等、きめ細かな指導も必要である。

- ・読書指導については、今がチャンスの時と捉え、興味や関心のある本を紹介して読ませたいものである。

【教職員アンケートについて】

- ・C・Dの回答率が低く、概ね良好である。
- ・肯定評価が高いことから、職員も一丸となって取り組んでいることが伺われ、安心している。
- ・コロナとの戦いも長くなるが、今後も続くものと考えたと先生方も大変である。健康第一なので、仕事と休みのメリハリをつけ、リフレッシュすることが一番である。教師が明るく、元気でいることが活力ある学校を作ると考える。
- ・第1回評議員会議で学校訪問した際、校内の雰囲気落ち着いていると感じた。また、教師の生徒への対応も良く、良い職場環境にあることを感じた。

【今後に向けて】

- ・校長の方針の下、教職員が一丸となって学校教育に当たっているので、C・Dの回答率0%をさらに目指していただきたい。
- ・小中連携での体験学習、旅行的行事、キャリア教育を推進すること。
- ・地域との交流や活動については、市教育委員会や小中連携で取り組んでいく必要がある。
- ・体験活動、進路指導における保護者・地域への定期的な情報発信をしていくこと。